



大和川にて（豊田敏夫氏撮影）

## 議 会 日 誌

平成21年（2009年）	12月	2日	農業委員会
	4日	議会改革特別委員会	
	9日	幹事長会議	
	10日	定例会議（議案質 疑・一般質問）	
	11日	定例会議（議案質 疑・一般質問）	
		市議会だより編集委 員会	
	14日	総務文教委員会	
	15日	市民福祉委員会	
	16日	建設産業委員会	
	18日	議会運営委員会	
平成22年（2010年）	1月	7日	市議会だより編集委 員会
		12日	農業委員会
		13日	市議会だより編集委 員会
		20日	中部市議会議長会議 員研修会
		27日	近畿市議会議長会理 事会
	22日	定例会議（各委員 長報告・採決）	
		大和川右岸水防事務 組合定例会	

## 現地視察を行いました

12月16日に、建設産業委員会が、片山雨水ポンプ場の進捗状況および玉手浄水場の稼働状況を確認するため、現地視察を行いました。



片山雨水ポンプ場にて



玉手浄水場にて

# 市民にやさしい安心できる まちづくりをめざして

## 質疑・質問のあらまし

今定例会では個人質問制により、12月10日・11日の両日に、市長から提案された議案に対する質疑及び市政全般についての一般質問を14名の議員が行いました。主な内容は次のとおりです。

未来志向で

「JR柏原駅東口地区の再生」

市民・民主クラブ

鶴田 将良



問 JR柏原駅東口地区の再生計画の調査内容について問う。

答 市内まちづくりのひとつとして、国の補助金を活用して実施するもので、対象区域は、JR柏原駅の東側、JR大和路線と近鉄大阪線、都市計画道路大泉本郷線、及び太平寺本郷線を囲む約20分を、地区の特性を生かした良好なまちづくりを促進するために基礎調査を行う。

問 この基礎調査は、いつ頃どのように進行する予定か。

答 市の支出を最小限に抑え、国庫補助のもと、交通量や土地利用等の現況調査を行い、都市計画道路の整備進捗状況、及び既存の公共施設を含めた都市計画施設の課題を抽出した後、当地区の位置づけと総合的な問題を検討し、今後の整備方針について協議を行う。

問 財源内訳としては、160



未来へ向けたまちづくりが望まれる柏原駅東口地区

0万円の予算のうち1000万円を、国からの地域活性化・公共投資臨時交付金としているが、政権交代により、その執行を心配する。どのようなお考えか。

答 この地域活性化・公共投資臨時交付金が多かった場合は、この事業全体ができないという状況になるので、この交付金がつくように関係機関へ強くお願いしていく。

要望 まちづくり事業の中でも、

東山地区の

環境について

市民の会

濱浦 佳子



計画には、地元住民の意見が最も大切である。まちづくり特別委員会など議会で諮り検討し、地区内住民の意向調査も含め、可能な限り未来志向の事業推進を明確に進めていただくようお願いする。

問 東山地区にある無認可の産廃処分場で20年間にわたって注射針やタイヤなどを不法投棄をしていたという元従業員からの訴えがある。

この土地を所有する業者は産業廃棄物収集運搬の業者で、埋め立てや中間処理の許可は得ていない。無認可で産業廃棄物を埋め立てているとしたら不法投棄である。産業廃棄物に関しては、大阪府の管轄であると思うが、市民の健康と安全を守るべき柏原市は、何故これを20年間も放置してきたのか。

元従業員の証言によれば、アスベストも含まれているという。事

全国からの視察

受け入れ状況（平成21年）

毎年全国各地市町村の議員、会派および委員会が柏原市の施策を視察に来られています。

平成21年中には6市から先進都市視察に来られました。

視察案件

○地域就労支援センター、雇用促進（釧路市、石巻市）

○市長の在任期間に関する条例（市川市）

○行財政改革（行政評価システム、来庁者サービス評価制度）（石巻市）

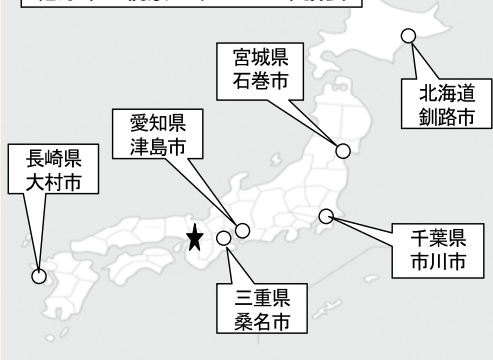
○まちづくり基本条例（大村市）

○スタディ・アフター・スクール（津島市）

【桑名市】

○JR柏原駅前整備と自由通路

柏原市に視察に来られた市議会





実であれば恐ろしいことである。地下に浸透して大和川に流れる可能性もある。

処分地の土壌検査、水質検査を早急にするよう大阪府に強く要望してほしい。

元従業員は全身に湿疹ができ治療中だが、羽曳野のアレルギー診療センターで検査したところ毛根にカビが繁殖するなど免疫力が低下したためと言われたと話している。

はつきりした因果関係は出ていないが、環境汚染有害物質、環境ホルモンによることが原因となれば大問題だ。

CO2だけが環境問題ではな

高齢者が安心していきいきと暮らせる社会に！

公明党

中村 保治



問 「柏原市高齢者いきいき元気計画」の今後の取り組みについて問う。

答 介護予防・健康づくりとして、「セレクトウェルネス事業」を実施している。特に、ひとり暮らし高齢者などに対しては、急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る緊急通報システム事業や、配食時に安否確認を行う高齢者総合見守り安全事業、高齢者虐待防

い。私たちの周囲にも環境汚染が起こっているのである。

未来の子どもたちを守るために業者に撤去させるよう強くお願いする。

答 具体的な証拠がなければ答えようがない。

柏原市の行財政運営に

自由民主党政新会

中野 広也



問 柏原市の財政運営の現状と、来年度の予算編成に対する考え方、及び市の将来の行財政運営について問う。

答 財政運営については柏原市だけではなく、全国的に苦しいの

が現状である。柏原市においては、今年度で予定納税のうち1億5000万円の返還、来年度は税収入全般で7億から8億減収するのではないかと考えられる。

しかし、予算がないからといって何もしないのでは、市が逼迫（ひっ迫）してしまふ。そこで、補助金や助成金を有効に活用して、やるべきことはきっちり行っていく。また、割れるところは削り、節約するところは節約するが、行政サービスの低下を招くことなく、むしろ今以上に市民サービスが向上できるように頑張っていく。

次に、柏原市の将来像としては、市立柏原病院の赤字を解消し、収

支均衡を保つことや、国民健康保険を広域的に運営することなども視野に入れて、めりはりを付けた行財政運営を行い、市民の皆様が元氣の出るような政策を考えて、行財政運営を進めていくことを基本姿勢としている。

要望

柏原市ではこの5年間で実質70億程度の行財政改革をされてきたが、世界不況の影響や、病院の問題、国民健康保険の運営の問題等、来年度以降も懸案事項がいくつもある。しかし、市民の皆様が本当に安心して暮らせるようなまちづくりに精一杯頑張っているだけのことであるので、今後の市政運営に期待する。

ここで、「見守り事業」として、『自らのまちは自らの力で守る』ということをめざし、「地域あんしん事業」に取り組んでいる。

要望

地域で起きた諸問題には、職員・教職員OBが、地元に戻られたときに、世話人として地域の人材を掌握し、介護問題、高

齢者問題、防災問題などに取り組みんで頂きたい。「この道路を通るとよく強盗に遭う」などの問題に、防犯灯設置・見守りの強化等地域ぐるみで取り組むようなあたったかい地域づくりが非常に大事になってくる。そして自助（個人が自立して生活する）・共助（地域住民が支え合う）・公助（行政による）この三つをバランスよく組み合わせることも重要である。地域での高齢者に対するボランティアへの還元などをモデル地域で実施していただくことを要望する。



太極拳による健康づくり

## 児童虐待に

### ついて

公明党

計盛佐登子



**問** 本市の児童虐待の現状について問う。

**答** 平成20年度の家庭児童相談室において相談・対応を行った件数は48件である。本市は、児童虐待の未然防止のため、平成18年度に発足した「柏原市要保護児童対策地域協議会」において、児童虐待防止に関連する機関との連絡を密に取り、円滑な連携を図っている。この「柏原市要保護児童対策地域協議会」は、市役所内の関係課をはじめ、東大阪子ども家庭センター・柏原警察・八尾保健所・公私立の保育所・幼稚園・小中学校の代表者・医師会・大阪法務局等で構成し、全体会議や実務担当者会議からケース会議に至るまで数多くの会議を持ち、また、各担当者の資質向上のための研修会を開催するなど、児童虐待も含めて、要保護児童の対策に努めている。

現在まで、本市において重篤な児童虐待の事例は発生していないが、今後も未然に防止することに努め、万が一発生した場合でも、迅速な判断により、子どもの一時保護や施設入所を行うなど、子どもの安全を最優先した措置を講じていく。

ていきたい。

**問** 年々、児童虐待が増えている中で、相談員が未だに一人だが、担当課の考えを問う。

**答** 一人で十分かというところではない。これからも虐待の件数が増えてきた場合には、相談員の充実をしていきたい。

**要望** 近隣市では、全て、2名から9名の相談員が存在するので、来年度より2名体制を要望する。

## 公共下水道整備

### について

会派に属さない議員

石橋 實



**問** 第5次五箇年計画について、その進捗状況を問う。

**答** 現在、平成18年から、平成22年度までの公共下水道整備第5次五箇年計画に基づき、整備を進めている。整備の進捗状況については、整備目標である平成22年度末の人口普及率80%に対して、本年度末の人口普及率は、78%を達成する見込みで、計画どおり進んでいる。

**問** 柏原西排水区の整備が、他の排水区より少し遅れているようだが、現在の進捗状況を問う。

**答** 各排水区の本年度末の人口普及率は、柏原東排水区では約88%、柏原西排水区では約70%、国分排水区では約74%となる見込み

である。

**問** 今後の進め方について問う。

**答** 第5次五箇年計画が、平成22年度で終わるので、引き続き平成23年度からは、第6次五箇年計画に基づき、計画的に進めていきたいと考えている。

なお、未整備地域においては、多くの市民が待ち望んでおられるので、出来るだけ早く整備を進めたいと計画しているが、下水道事業の整備には、多額の費用を必要とし、その財源の多くは起債に頼らざるを得ず、後に大きな財政負担となるため、今後の財政状況を勘案しながら進めていきたいと考えているので、理解していただきたい。

## 要望

特に他の地域に比べ、遅れている古町地区の幹線部分の工



下水道整備が望まれる古町地区

事は、平成22年度末には完成するように強く要望する。

## 人材育成及び

### 職場環境について

自由民主党政新会

乾 一



**問** 職員の人材育成及び職場の環境づくりについて問う。

**答** 「市役所は、最大のサービス機関である」との基本理念に基づき、担い手である職員一人ひとりの育成と職場の環境づくりが、重要との考えから、平成19年3月に柏原市人材育成基本方針である「行動改革」を策定した。策定にあたっては中堅や若手職員らが参画し意見を十分取り入れたものとなっており、「自ら成長」「職場で成長」「人事制度で成長」の3つの重要項目としている。

まず、「自ら成長」するために、一般研修として、新規採用、中堅及び管理職員など職階別の研修や自己啓発を、また特別研修として、接遇や職務の専門性等の実務研修などを実施している。「職場で成長」としては、人は仕事を通じて育つと言われることから、職員同士のコミュニケーションを図り、共通の目標を設定しチームとして仕事に取り組むよう努めている。「人事制度で成長」については、客観的な評価制度の確立、新規採



用事務職員対象の計画的なジョブローテーション（複数の職場を経験させる）を実施している。

次に、職場の環境づくりについて



職員研修の様子

では、柏原市職員安全衛生委員会を設置し、定期的に職場を巡視し職場環境の維持、向上に努めている。また、こころの病、メンタルヘルスに対する研修も行っている。

**要望** 一生懸命頑張っておられることに感謝し、仕事に意欲を持ち、生きがいとできるよう更に努めていただくことを願う。

### 小・中学校のインフルエンザ対策について

市民の会

藤森 洋一



**問** 小・中学校でのインフルエンザによる学級閉鎖、学年閉鎖、および学校閉鎖の状況を問う。

**答** 本市の学校園の新型インフ

### 中学校給食について

市民・民主クラブ  
岸野友美子



**問** 中学校給食について問う。

**答** 中学校給食実施は難しいが、府のスクールランチ推進事業を活用し、家庭弁当との選択制で、中学校の食育の推進と保護者の負担軽減に取り組むところである。

**問** 小学校も中学校も同じ義務教育であるが、小学校には経費の負担があるのに、なぜ中学校にないのか。昭和29年に学校給食法ができ、数年前に「食育の推進」と

ルエンザの罹患状況は7月以降、11月までの合計で幼稚園児64人、小学生1140人、中学生570人となっている。

11月までの臨時休業の合計は、86学級、17学年、8校である。

臨時休業は、大阪府教育委員会のインフルエンザ対応マニュアルに沿い、学校長と学校医が罹患状況を十分に把握・検討して判断している。

次に、感染予防や拡大防止の対策として、9月に全学校園に消毒液とマスクを配布すると共に、各学校園内に対策部会を設置し、感染防止や感染時の対応について検討するよう指導した。

の辺のところを考える。問題はあがるが、議会でもとめて議論を進めて、提案があれば民営化する。ところが提案して通るか、そこが問題である。

**要望** 提案して議論すること为民営化も可能なわけである。今日、明日に変わらなくても市長の言葉で前向きに走り出したことを確信した。

中学校給食は民営化するように努力をしていくが、まずスクールランチで対応できるように要望する。

学校園では、手洗い・うがいの励行、教室の換気の徹底、行事の自粛や変更等、感染の予防・拡大の防止に取り組んでいる。

また、規則正しい生活習慣の確立や偏食防止の指導も大切に行っている。

**問** 臨時休業による授業の遅れを、どのように補っていくのかを問う。

**答** 臨時休業による授業の遅れは学校・学年によって欠けた時数が違うため、個別に対応する。5時限までの日に6時限実施したり、冬休みを1日から3日短縮して、支障が出ないよう配慮する。

**要望** 中学3年生は、受験をひかえているので、十分考慮するよう要望する。



中学校におけるインフルエンザ対策

## 柏原市独自の「事業仕分け」

公明党

堅木 照久



問 「事業仕分け」の手法について問う。

答 「柏原市まちづくり戦略会議」を12月1日に発足し、「事業仕分け」を柏原市独自の方式で行う。平成22年度予算について「要」「不要」に分け、「要」となった事業についても優先順位及び行財政改革について市長に提言する。

平成19年度に市民参加で策定された「新しい柏原 まちづくり基本計画2008」の基本理念「住みたくなるまち」「住み続けたいまち」「魅力あるまち」づくりに向けた事業提案や予算要求、さらに「まちづくりプロジェクト」(現在NPO法人申請中)からの提案を受け予算化に向け検討する。

問 「不要」となった事業は廃止するのかわかる。

答 「不要」となっても市長が必要と判断する場合もある。

要望 「事業仕分け」は「自治体の予算書を見て、個々の事業を本当は誰がやるべきかチェックしてはどうか」と始まり、平成17年9月の総選挙で公明党が「国でも事業仕分けをやろう」とマニフェストに掲げた。「戦後60年目



初の試みである事業仕分けの様子

の大掃除」「現状を白紙にして考える」「法律にあるから実施と言うのでなく不要なものは不要」「ゼロベースで考え」、今回、本当に市民にとって必要なのか「事業仕分け」を大なたをふるってやってもらいたい。

「仕分け人」は、中司氏以外、全員内部の方である。今後「事業仕分け」を外部の方から市民参加で実施するよう要望する。

## 国保料の引き下げについて

日本共産党

橋本 満夫



問 来年度の国民健康保険料を引き下げをお考えについて問う。

答 社会経済状況を勘案し、被保険者の急激な保険料負担とならない配慮をしながら、国保財政の

健全化を図る。

要望 市民の方からすれば、払いたいがど払えないほど高くなっているのが国保料である。今年6月に毎日新聞の記事に、2008年度の国保料について全国の市町村を調査した記事があった。全国1794市町村の中で126の市町村で所得の2割以上の保険料を集めていることがわかった。柏原市もこの中に入っている。

たとえば、所得200万円の4人家族で、食べ盛り・育ち盛りの子どもがいて教育費に一番お金がかかる世代がある。柏原市では年間保険料が約40万円である。所得の2割である。これが払いたいがど払えない国保料の実態である。

発足当時から、加入者大半を自営業者、年金加入者、失業者が占め、十分な国の補助なしでは維持できない制度となっている。引き続き柏原市としても国に対して財政支出を要望することはもとより、大阪府に対して、国保会計が大幅赤字になっている市町村に対しての特別な補助を求めることが必要である。

そして、同時に市民の方の負担を少しでも軽減するために、一般会計から特別繰り入れを増やし、保険料を少しでも払いやすくするのが柏原市のすべきことである。

## 公共施設の整備について

日本共産党

山本 真見



問 市内の小・中学校の洋式トイレの整備について問う。

答 小・中学校は毎年洋式トイレの整備を行っている。

要望 不十分ながら設置を進めてこられたことは理解するが、生まれた時から洋式トイレを使用している子どもは、和式トイレに慣れていない。そのため、洋式トイレが空いていないと使用するのが嫌で、自宅まで我慢する子どももあり、健康面で不安を感じる。

また骨折など怪我の際には必ず洋式のトイレが必要なので今後は非増やしてほしい。

問 次に、公共施設のトイレの整備について問う。

答 文化センターは一部洋式トイレが設置されているが、市立体育館、第二体育館とも洋式トイレは未整備である。

問 体育館のいきいき健康教室には多くの高齢者が参加されている。高齢者の方には洋式トイレが必要と思うがどのように考えているか。

答 身障者用があるのでそちら



を利用して欲しい。

**要望** 体育館の利用人数を調べると、平成18年度5万3027人が、平成20年度では、6万3



トイレの改修が望まれる公共施設

944人に増加し、第二体育館でも平成18年度1万3245人から1万5953人と利用者人数が増加している。

利用者増加に伴い洋式トイレの必要性も増す。各種の教室には腰痛や膝に痛みを持つ人も参加されており、現状では十分とは言えない。洋式トイレの設置を希望する。

### コミュニティ事業の 今後のあり方について

柏原維新の会

奥山 渉



**問** 地域のつながりの希薄化が叫ばれている中、地域の教育力、防犯力、防災力の向上と、たくさんの団塊の世代の方々を地域に迎

保護者・児童・生徒の相談窓口

として、教育研究所と小学校5校に、臨床心理士の資格を有するスクールカウンセラー3名を市単費で配置しているが、相談日は予約ですべて埋まっている状況である。また、中学校においては、スクールカウンセラーを全校に配置し、相談にに応じている。

**答** いじめの件数は、年々減少傾向にあるが、携帯電話・メールでの誹謗、中傷など実態把握が困難な事象も増えてきている。次に不登校であるが、平成20年度の不登校は、小学校13人、中学校35人で横ばいである。

**要望** 小学校・中学校におけ

え入れるには、市のコミュニティ事業が重要と考える。これからのコミュニティ活動の推進について問う。

**答** 地域コミュニティ活性化の取り組みとして、『コミセンまつり』や『かしわら国際フェスティバル』を開催している。また、地域の会館や老人会館を利用して『出前講座』を実施しており、参加者同士のつながりを強める狙いもある。引き続き地域コミュニティの推進のために努めていく。

**問** 拠点として、コミュニティ会館を中心に行っているが、市内には財産ともいえる48ヶ所の町会会館や老人会館がある。以前

る、いじめ・不登校の実態については、報告件数以上の実態があると考えるべきである。柏原市では、小中一貫・連携教育を推進しているが、これにより、いじめ・不登校の問題にも成果を挙げられると考える。また、保護者・教師・地域・行政が一体となり、この問題に取り組みべきである。

**答** 財政状況の厳しさは十分理解しているが、カウンセリングの件数は増加傾向であるので、カウンセラーをより一層充実していただくよう要望する。

は市の条例で、補助金があり、建て替えや修繕等に充当した経緯があるが、条例が廃止になり、拠点づくりの観点から、条例制定を願うが、今の財政では困難である。現在、社会福祉協議会で市内24ヶ所、38台の自動販売機を管理しており、その売上の一部を福祉に利用している。この手法を取り入れ、市内48ヶ所の会館に協力いただき、売上の一部を会館の修繕費にあてる財源にしてはどうか問う。

**答** 町会会館や老人会館については地元で負担して頂く。それも地域のひとつの活力であると考えている。また、市内の地域によって偏りがある。元気な地域から波及する活動に努めたい。



コミセンまつりの風景

## 12月議会で決めたこと

- ◇平成20年度柏原市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成20年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について
- ◇平成20年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）歳入歳出決算の認定について
- ◇平成20年度柏原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成20年度柏原市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成20年度柏原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成20年度柏原市柏原駅西口地区市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成20年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成20年度柏原市市立柏原病院事業決算の認定について
- ◇平成20年度柏原市水道事業決算の認定について  
(以上、認定)
- ◇一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
- ◇工事請負契約の締結について
- ◇平成21年度柏原市一般会計補正予算（第9号）
- ◇平成21年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
- ◇特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- ◇一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- ◇平成21年度柏原市一般会計補正予算（第10号）  
(以上、原案可決)
- ◇固定資産評価審査委員会委員（近藤隆氏）の選任につき同意を求めることについて
- ◇教育委員会委員（三宅義雅氏）の任命につき同意を求めることについて
- ◇副市長（中川喜美治氏）の選任につき同意を求めることについて  
(以上、同意)

## 陳情等

○子どもたちが安心して医療を受けられる

国民健康保険制度の改善を求める要望

河内の地方政治をよくする会

(以上の陳情は、理事者送付となりました)

○選挙権の年齢引き下げを求める要望

河内の地方政治をよくする会

(以上の陳情は、議長預かりとなりました)

## 本会議・委員会を傍聴しませんか

本会議・委員会開会当日、受付にて受付簿に住所・氏名等を記入するだけで簡単に傍聴できますので、お気軽にお越しください。

なお、一般傍聴者の定員は、本会議20名、委員会10名です。

傍聴の詳しい方法やわからない点等がありましたら、議会事務局972-1501（代表）内線3113・3114までお問い合わせください。

第1回定例会（3月議会）の開催予定は次のとおりです。

## 第1回定例会（予定）

月 日	会 議 名	内 容
2月24日(水)	本 会 議	市政運営方針演説、議案説明
3月11日(木)	本 会 議	市政運営方針に対する質問及び議案質疑
12日(金)	本 会 議	
15日(月)	本 会 議	
16日(火)	本 会 議	
17日(水)・18日(木)	総務文教委員会	付託議案審査
19日(金)・23日(火)	市民福祉委員会	
24日(水)・25日(木)	建設産業委員会	
30日(火)	本 会 議	各委員長報告、採決

※いずれの会議も午前10時からです。 ※日程は変更する場合があります。

## 編集後記

昨年度夏の選挙改選後、編集委員会では、一年間に5回のみの発行である市議会だよりを、読みやすい紙面に作り上げることはもちろん市民の皆様とともに歩むことを念頭に置き、議会報告や議会としての取り組み、活動を掲載することにより『見える議会』を市議会だよりの編集を通じて実行していきたいと思っております。

編集委員会

○山下亜緯子 ○岸野友美子

○山本 真見 田中 秀昭

○濱浦 佳子 奥山 渉

○計盛佐登子 ○は委員長 ○は副委員長

## 柏原市議会の会議録を

## ホームページで閲覧できます

柏原市議会のホームページでは、市議会会議録や市議会の情報等がご覧になれます。

柏原市議会

検索

柏原市議会ホームページアドレス

<http://www.city.kashiwara.osaka.jp/gikai/>